



国土交通省 北陸地方整備局



2018年 夏号

えいぜん通信@北陸

Vol. 4 4



佐渡海上保安署

- 投稿者：北陸地方整備局営繕部
- 撮影年月：平成30年7月
- 所在地：新潟県佐渡市両津夷384番地1
- 施工者：建築 近藤組・伊藤建設経常建設共同企業体
電気設備 東新興業(株)
機械設備 (株)新潟日立
エレベーター 三菱電機(株)

Contents

事業紹介

佐渡海上保安署新庁舎の整備	【営繕部 整備課】	2
奥卯辰山健民公園公園センター整備	【石川県 土木部 営繕課】	3

トピックス

営繕工事における働き方改革の取組について	【営繕部 計画課】	4~5
----------------------	-----------	-----

保全だより

夏の保全情報	【営繕部 保全指導・監督室】	6
官庁施設情報管理システム施設管理者向け操作説明会	【営繕部 保全指導・監督室、金沢営繕事務所】	7

情報ホットライン

公共建築に関する情報発信	【新潟県・富山県・石川県・新潟市】	8~11
	【営繕部】	12~15

佐渡海上保安署新庁舎の整備 (平成30年度完成施設)

(営繕部 整備課)

1 庁舎の概要

佐渡海上保安署は、昭和37年に完成してから50年以上経過しており、経年による老朽化・狭隘化が著しいことに加えて、耐震性能が不足していました。

そこで、新庁舎を両津港北埠頭地区に建設・移転したものです。

新庁舎は防災拠点として、災害時において業務が停止することの無いように整備しています。

また、佐渡市と津波避難ビルの協定も締結し、市内第1号の津波避難ビルとして、防災上の機能も期待されています。



新築庁舎の外観（ドローンによる空撮写真）（photo by岡崎 淳）

2 整備にあたっての主な事項

(1) 災害応急対策活動拠点としての施設整備

- ・地震、津波などの災害に耐える構造
- ・被災時における72時間の電源、7日間分の水の確保
- ・公共下水施設使用不能時の汚水を貯留できる排水槽を設置

(2) 津波避難機能を考慮した施設整備

- ・屋上の避難場所（約200人収容）への経路確保のための外部階段を設置
- ・周辺からの避難者を想定した囲障のない敷地境界

(3) 施設用途、規模等を踏まえた地球環境負荷低減に配慮した施設整備

- ・昼光制御したLED照明を設置
- ・全熱交換器等の空調機器類を設置

(4) 木材の有効利用

- ・内装に、木材や木質系仕上げ材を採用



断面図

■施設概要■

- 所在地 新潟県佐渡市両津夷384番地1
- 構造・規模 鉄筋コンクリート造
地上3階建
延べ面積 915.03㎡
- 工期 2017年1月～2018年6月
- 施工者
建築：近藤組・伊藤建設経常建設共同企業体
電気設備：東新興業(株)
機械設備：(株)新潟日立
エレベーター：三菱電機(株)
- 設計・監理
設計：(株)都市環境設計
工事監理：(株)細貝建築事務所

事業紹介

オクウタツヤマ

奥卯辰山健民公園公園センター整備

(石川県土木部 営繕課)

1 事業の概要

当公園は、自然豊かな奥卯辰丘陵地に位置し、約7万㎡のゴルフ場跡地を整備し開設された、年間利用者数約15万人の奥卯辰山健民公園です。公園センターが築50年を越えており、老朽化が著しいため、新たな公園センターを整備することとなりました。新たな公園センターは、公園の特徴である芝生広場との一体的な利用を可能とし、利用者の利便性の向上を図り、緑豊かな周辺環境との調和に配慮した計画としました。

2 整備方針

建物を整備するにあたり、以下の理念に基づいて整備を行いました。

(1) 芝生広場との一体的な利用

休憩ホール、レクリエーションルーム及びミーティングルームに、それぞれテラスデッキを設け、芝生広場へと連続する「床」を形成。

(2) 修景景観との調和

傾斜や起伏のある地形、のびやかな景観に馴染むよう、柔らかな曲線の大屋根。

(3) 県産材の利用

小径木を部材とした立体トラス屋根など、構造及び内装材に県産木材をふんだんに利用し、CLTも採用するなど、木の楽しさやぬくもりを感じられる意匠。



公園センター外観

3 工事で考慮した内容

この公園センターは、ホール棟と管理棟で構成されており、ホール棟の屋根は、木造立体トラス工法を採用し、一方管理棟は、県有施設では初となるCLTパネル工法を採用するなど、内装材のみならず構造材にも木材をふんだんに利用しています。

ホール棟の柱や立体トラスを構成する木材は、県産材である能登檜（ヒバ）の集成材を採用しました。

今回の工事は、公園を使いながらの工事であり、受注者も来園者の安全確保に配慮した施工を行って、無事故無災害で、無事竣工を迎えることが出来ました。

今年4月に供用を開始し、来園される方の憩いの場として活用されており、公園の新たなランドマークとして、評判も上々のようです。



ホール棟(木造立体トラス工法)



管理棟(CLTパネル工法)

■施設概要■

- 名称 奥卯辰山健民公園公園センター
- 所在地 石川県金沢市若松町ア32番
- 構造・規模 木造平屋建て
延べ面積968.92㎡
- 工期 2017年3月～2018年3月
- 設計・監理 (株)金沢計画研究所
- 施工者 建築：みづほ・フレックス
特定建設工事共同企業体
電気：(株)大地電業所
空調：鈴木管工業(株)
給排水：第一電機工業(株)
受変電：(株)柚木商事

営繕工事における働き方改革の取組について

(営繕部 計画課)

「働き方改革実行計画」(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定)において、建設業については、一定の猶予期間を置いたうえで、時間外労働の罰則付き上限規制の一般則を適用することとされたところです。

当該規制の適用に当たっては、個々の建設企業や建設業界全体における生産性向上に向けた取組と併せて、発注者や国民の理解を得ていくための取組が必要であることに鑑み、平成29年6月に「建設業の働き方改革に関する関係省庁連絡会議」、同年7月には「建設業の働き方改革に関する協議会」が設置されたところです。

これらの会議における議論も踏まえ、当部では営繕工事における働き方改革に向け、次図のとおり各種取組を実施していくこととしています。

次頁に示す<1>から <9>について、それぞれ以下の取組等を行っています。

[<1>公共建築工事の週休2日確保などに向けて公共発注者が連携](#)

[<2>営繕工事における各工程の適正な施工期間の確保](#)

[<3>週休2日の推進のため、週休2日工事のモニタリングを実施](#)

[<4>週休2日工事\(現場閉所\)実施に伴う労務費補正等の試行](#)

・[営繕工事における週休2日促進工事の実施について\(通知\)\(H30.3.20\)](#)

・[営繕工事における週休2日促進工事に係る積算方法等の運用について\(H30.3.20\)](#)

[<5>・営繕工事において施工合理化技術の更なる活用促進\(H30.4.12\)](#)

・[営繕工事に係る請負工事成績評定要領の運用](#)

・[官庁営繕事業に係る電子納品要領等を改定\(H30.3.5\)](#)

[<6>官庁営繕事業における生産性向上技術の導入に関する調査検討業務を委託](#)

[<7>営繕工事で工事関係図書等に関する効率化を一層推進](#)

[<8>設計意図の的確な反映のため、設計意図を遅滞なく伝達する取組を実施](#)

[<9>営繕工事の生産性向上に向けた施工段階における関係者間調整の円滑化](#)

[<国土交通省ホームページ参考資料アドレスを示す>](#)

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000040.html

営繕工事における働き方改革の取組

建設業の働き方改革における今後の取組の方向性

建設業の働き方改革 今後の取組の方向性

① 適正な工期設定・施工時期の平準化

・時間外労働の上限規制に対応できるよう、週休2日を前提とした適正な工期設定による工事の発注や施工時期の平準化を推進

② 社会保険の法定福利費や安全衛生経費の確保

・適正な工期設定に伴うコスト増加のしわ寄せが必要経費の削減に繋がらないよう、社会保険の法定福利費や安全衛生経費を含んだ適正な請負代金による契約を徹底

③ 生産性向上(i-Construction)

・工事現場における生産性向上を図る観点から、ICTの積極的な活用や書類の簡素化を推進

④ ガイドラインの策定・周知

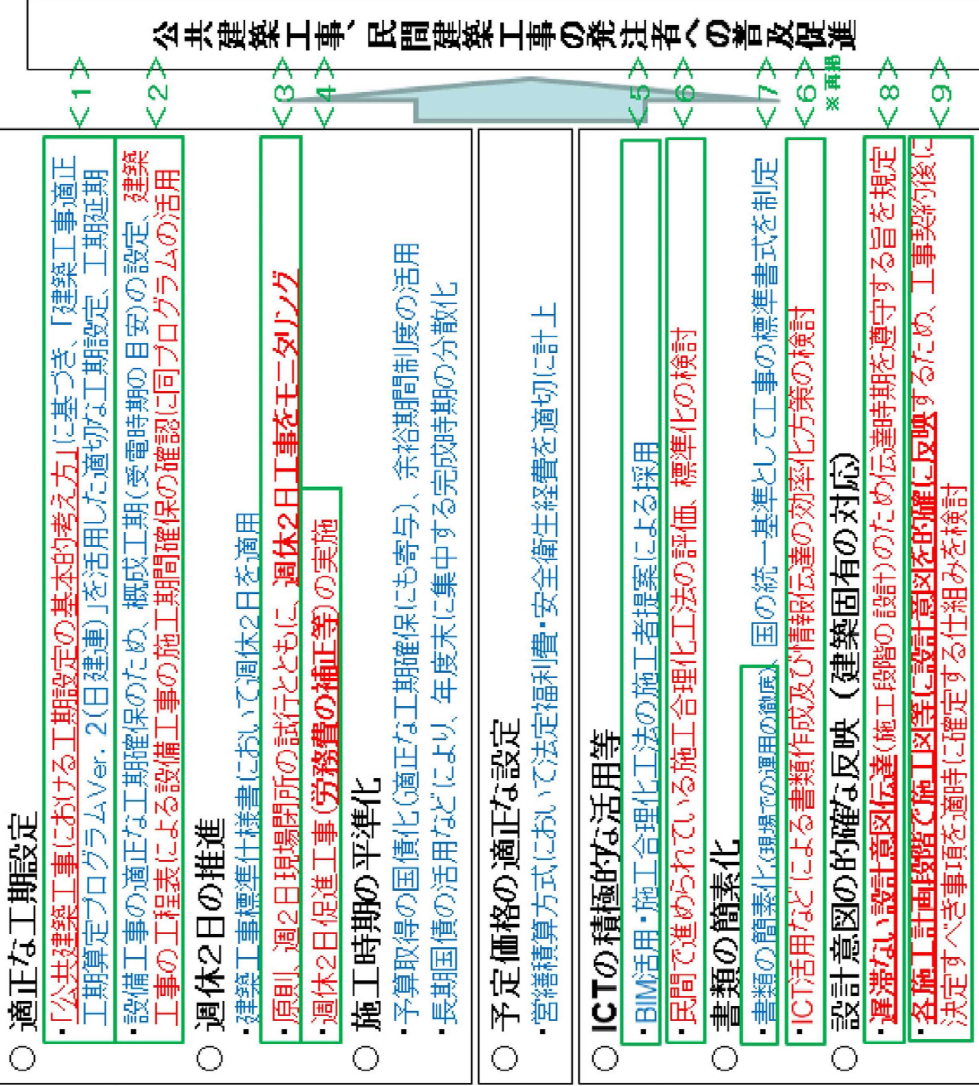
⑤ 不適正な工期への対応の強化

⑥ 民間発注者への支援等

⑦ フォローアップ

⇒ 省内対応に連動

営繕工事における取組 (凡例：既往・継続の取組-青字 新たな取組-赤字)



(出典：建設業の働き方改革に関する協議会資料(平成29年7月28日))

夏の保全情報

(営繕部 保全指導・監督室)

1 「保全」は施設保全責任者の役割です。

保全の不備は、施設の不具合を招き、施設利用者や周辺の方々に被害が及ぶおそれがあります。

施設保全責任者は、事故等を防ぐためにも適正な保全を行う責任があります。

2 夏の保全

今回は、夏に気をつけていただきたい省エネと台風等について、保全情報を記載します。

政府実行計画が、平成28年5月13日に閣議決定されました。原則として、政府の各行政機関が行うすべての事務及び事業に伴い、直接的及び間接的に排出される温室効果ガス総排出量を、2013年度を基準として、2030年度までに40%削減することを目標としています。

また、中間目標として政府全体で、2020年度までに10%削減を目指すこととしています。

冷房機器は正常に運転していますか？冷房能力が落ちてきて年々電気代が増えていませんか？

電気代等の急激な使用量の増加は、「例年より高温が続く夏であった」等の原因がわかっている問題ありませんが、エネルギー使用量の確認は庁舎管理をする上で必要なことです。

省エネと節約は違います。我慢をして体調を崩すような温度管理はせず、余分なエネルギーの消費を抑え効率よく庁舎の維持管理をしましょう。

最近台風による風雨の他に、線状降水帯やゲリラ豪雨等による施設への被害が想定されます。

施設保全責任者は、風雨による施設への被害と人身被害及び第三者への損害を与えないために、建物の定期点検と支障のない状態の確認が必要です。

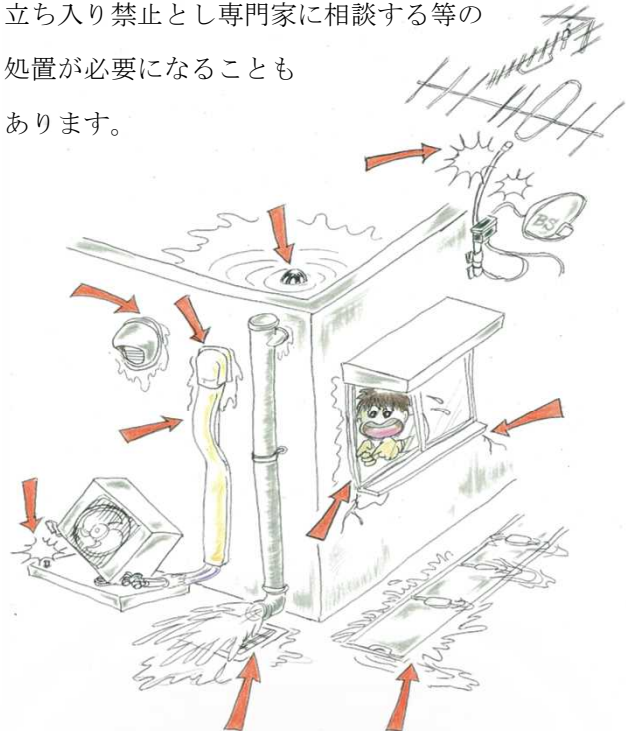
屋内では、建具周り・ダクトや配管等、外壁の貫通部分のシーリング材の破断・変形・損傷の状態と漏水による染み跡が無いかを確認します。

屋上では、漏水の原因となりやすい防水層の浮き、はがれ、亀裂の有無を確認し、ルーフトレン、「とい」の堆積物やゴミを除去します。

屋外では、強風等により落下・飛散しないよう、ガラリ（吸排気口）の固定状態、仕上げ材（タイル等）の剥落・浮き等、タラップ、外灯、手すり、アンテナ、高置タンク、空調屋外機等の取付部分の錆、揺れ・グラつきが無いか固定状態を確認します。

屋外排水側溝に、ゴミ・草木による障害は無いかな、樹木の枯れや倒木の恐れ、門・扉のヒビ、掲示板、庁名板、外壁に取り付けてある盤類に脱落の恐れ等が無いか確認し、危険性のある場合は、立ち入り禁止とし専門家に相談する等の

処置が必要になることもあります。



保全だより

官庁施設情報管理システム施設管理者向け操作説明会

(営繕部 保全指導・監督室、金沢営繕事務所)

1 施設管理者向け操作説明会の概要

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所は、施設管理担当者として、官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）の入力操作に必要な知識を得ることを目的に、新潟県、富山県及び石川県の三会場において、平成30年度「官庁施設情報管理システム施設管理者向け操作説明会」を次のとおり開催しました。



講習会の状況(新潟会場)

開催状況

開催日	6月1日	6月7日	6月13日
開催地区	新潟県	石川県	富山県
開催会場	ビジネスインターネット カレッジ新潟校	石川職業能力開発 促進センター	富山市職業訓練 センター
参加者	12官署17名	14官署16名	9官署10名

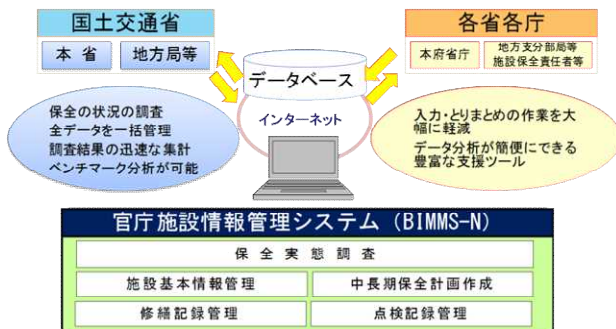
2 施設管理者向け説明会の内容

- (1) 保全の概要
- (2) 国家機関の建築物の点検
- (3) 官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の概要
- (4) 官庁施設情報管理システムの実践
- (5) 新機能のお知らせ

講習会は、営繕部保全指導・監督室や金沢営繕事務所の担当者によるBIMMS-Nの操作説明の後、実際にインターネットに接続されたパソコンを用いて、操作習得の演習を行いました。



講習会の状況(石川会場)



講習会の状況(富山会場)

■公共建築物における木材利用の促進 ④ (シリーズ)

【新潟県1】

新潟県では、通常の木材に比べて強度や耐火性に優れ、中大規模施設への利用が期待されているCLT（直交集成板）を用いた施設の整備を進めています。

以下に紹介する実施例では、県産スギ材を材料としたCLTパネルを用いています。

CLT利用 (1)

施設名 県立青少年教育施設野外活動支援棟
概要 木造2階 377㎡ H29年度完成

外観の躯体はCLTあらわしとし、保護のため塗装仕上げとしています。CLTパネルの小口を保護するため、板材を付柱のように取付けています。

1階は、施設での野外活動（キャンプ等）の際のベースとして使用する建物であるため、外部的な空間になります。

2階内部は、CLTあらわしを基本としていますが、屋内での研修活動や宿泊を行う際に床のCLTパネルの接合金物が支障となるため、床をフローリング仕上げとしています。



野外活動支援棟外観



1階 野外活動のベース(外部的空間)



2階 研修・宿泊施設(フローリング仕上げ)

CLT利用 (2)

施設名 中山間地農業技術センター
概要 木造2階 177㎡ H29年度完成

外観は、CLTを保護するため、CLTパネルの上にサイディング貼り仕上げとし、ポーチの一部は、CLTあらわしとしています。

内部は、壁や床の大部分をCLTあらわしとしています。階段室では、2階床パネルの小口が見えます。



農業技術センター外観



内部

【富山県1】

「富山県議会議事堂」

昭和46年に竣工した富山県議会議事堂の耐震改修工事に併せて、内装の木質化に取り組みました。

本会議場や正面ホール、会議室等の壁面や天井材に、県産材のルーバー（※）を設置しています。

また、建物に内装制限の規制がかかるため、準不燃処理をした県産材を使用しています。

■施設概要■

- 構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階、地上4階建て
延べ面積 6,030㎡
耐震改修、内外部及び設備改修等
- 工期 2016年3月～2017年8月
- 設計・監理 富山県建築設計監理協同組合
- 施工者 辻建設・石坂建設・村松建設
共同企業体 外
- 木材使用量 36.5㎡(うち県産材28.8㎡)

本会議場(準不燃処理した木材使用)

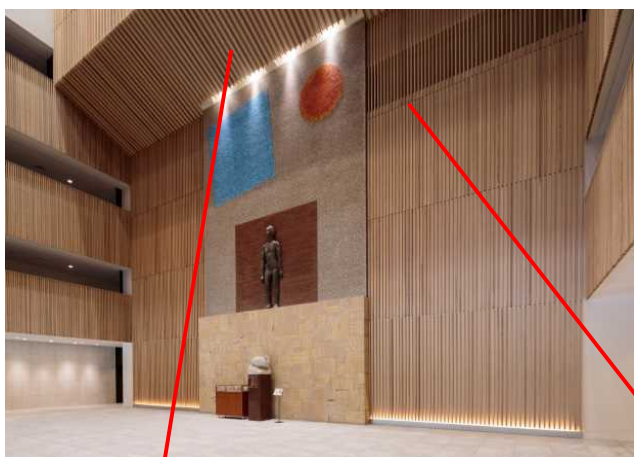


(photo by成伯淳一)

氏名札
(県産材使用)

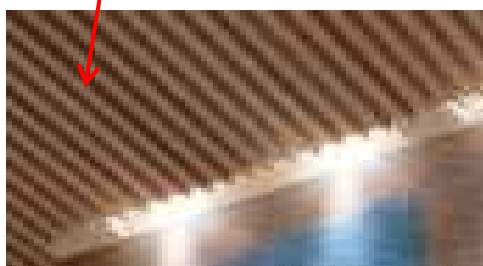
椅子の肘掛け部分
(県産材使用)

壁面ルーバー
(県産材使用)

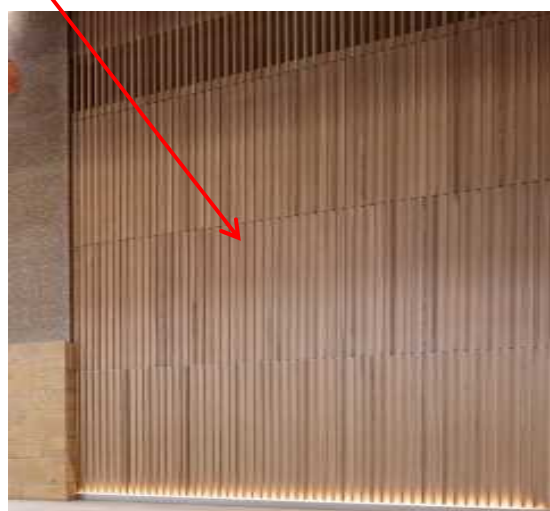


(photo by 成伯淳一)

正面ホール(準不燃処理した県産材使用)



天井に設置したルーバー



壁面に設置したルーバー

(※) ルーバーとは、羽板(はいた)と呼ばれる細長い板を、枠組みに隙間をあけて平行に組んだもの。

【石川県】

「白帆台団地県営住宅」

事業背景

石川県河北郡内灘町に立地する「鶴ヶ丘団地県営住宅」は、RC造4階建ての公営住宅です。

建設後40年以上が経過し、老朽化が著しく、浴室が無いなどの居住性能も低いため、建替事業に着手することとなりました。

既存の鶴ヶ丘団地県営住宅は、細長く狭小な敷地であり、現地で、全ての建替えが困難であるため、一部を同町内の振興住宅地である白帆台団地に移転し、建替えを行うものです。



細長く、狭小な敷地形態

事業計画

移転先については、電線類を地中化するなど、景觀に配慮して造成された振興住宅地であり、入居ニーズも高い地域であることから当該敷地を選定しました。

今年4月、付近で小学校が開校しており、子育て・ファミリー世帯が多く居住する地域です。

整備は、周辺住宅と調和した木造戸建て、2戸を1棟とした住棟計画とし、子育て・ファミリー世帯向けに広めの間取り（2・3LDK）としています。



完成イメージ

事業概要

木材は、柱に『県産杉』、土台・大引には、水湿にも耐久性が高い能登半島で伐採された『能登档（ヒバ）』を採用しています。

屋根に設置する瓦には、石川県小松市の名産であり、防災瓦である『小松瓦』を活用するなど、県産材を積極的に採用しています。

また、当該エリアには地区計画が定められており、外観色には制限が課されています。

そのため、基本設計時からカラーコーディネーターを交え色彩を検討し、アースカラーを基調としたデザインにより計画・整備を行いました。

■施設概要■

- 整備期間 平成29年度～平成34年度
- 整備戸数 45棟90戸（県営住宅）
※平成30年度は、15棟30戸完成予定
- 構造規模 木造 平屋・2階建て
- 床面積 63～95㎡/戸
- 最高高さ 7.5m



団地内住棟外観



現状の整備状況

【新潟市】

「寺山公園子育て交流施設い〜てらす」

新潟市の木質化の施設事例として、平成30年4月にオープンした「寺山公園子育て交流施設い〜てらす」があります。

この施設は、「遊ぶ」「つながる」「楽しむ」を基本理念とした育児支援、子育て世代の交流、地域の世代間交流の推進を目的としています。

0歳～小学3年生の子どもと保護者が利用できる“子育て支援ゾーン”と、公園利用者など誰もが利用できる“交流ゾーン”に分かれています。



受付コーナーの天井ルーバー(県産の杉材使用)

■施設概要■

- 構造規模：S造平屋建て（一部2階建て）
- 延床面積：1,357.79㎡

木材の使用について

この施設では、木の持つ温かみを感じられるよう仕上げ材に新潟県産の杉材を使用しています。

室内の天井ルーバー、腰壁、窓枠と一体化したベンチ、公園に向かって曲線状に張り出した底の支柱、軒天押し縁などに化粧木材を使用し、木質化しています。

また、通年で利用できる室内に、木材を構造材とした大型遊具を設置しています。滑り台や迷路、ボルダリング、ネットクライミングなどで遊ぶことができます。



室内の大型遊具(県産の杉材使用)



寺山公園子育て交流施設い〜てらす外観

■ 夏のイベント情報 ＜北陸地方整備局、新潟地方気象台見学デー＞

今年度より、新潟地方気象台と連携し、気象の仕組みを学びつつ、防災への理解を深めてもらうように「北陸地方整備局、新潟地方気象台見学デー」を開催します。

見学デーは、北陸地方整備局の業務内容を広く知っていただくと共に、市民の防災意識向上及び将来の担い手の確保を図り、併せて、職員の家族に、職場への理解を深めてもらうことを目的とし、当日は、災害時の防災拠点となる整備局施設の見学会や、地震・豪雨体験、車いす体験などの体験・学習コーナー、特殊車両展示、パネル展示やクイズラリーなどを設け、「みて ふれて 遊んで 学べる」催しを多数企画しています。

申し込み不要・入場無料で、どなたでも参加いただけますので、皆様のご来庁をお待ちしております。

◎日時：平成30年8月9日（木） 参加無料

午前 9:30～12:00

午後13:00～15:30

◎場所：北陸地方整備局（新潟美咲合同庁舎1号館）

新潟市中央区美咲町1-1-1

◎当日の催し物は、新潟地方気象台とのコラボレーションを予定しています。

■ 平成31年度新営予算単価作成

新営予算単価は、官庁施設の質的水準を统一的に確保することを目的とし、予算概算要求等に当たって、官庁施設の新営に必要な、工事費の算定に用いる単価等を定めた基準です。

毎年、国土交通省が、予算要求に先立って作成し、各省各庁に提示しており、5月24日、国土交通省で説明会を開催しました。

○国土交通省ホームページ（新営予算単価）

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_touitukijyun_shineiyosantanka.htm

■ 公共建築工事の発注者の役割について

平成29年1月20日、国土交通大臣宛てに、社会資本整備審議会から「官公庁施設整備における発注者のあり方について」答申がありました。答申では、公共建築工事の「発注者の役割」を明確にするとともに「その役割を果たすための方策」が提言されており、全ての公共建築工事の発注者へ向けた内容となっています。なお、同ページには解説書の掲載もありますので参考にして下さい。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000084.html

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。

この窓口では、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

お気軽にご相談ください。

なお、国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」を官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild.tk6_000063.html

- 北陸地方整備局営繕部計画課
TEL: 025-280-8880 (内線5153)
FAX: 025-370-6504
- 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課
TEL: 076-263-4585
FAX: 076-231-6369

e-mail: pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名、会社名、担当者、連絡先等をご記入ください。

■ 施工管理技術検定の年2回化の

実施計画が確定

平成30年度より実施する2級学科試験の年2回化について、試験日程を含めた実施計画が確定しましたので、お知らせします。

下記ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000537.html

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省の施策内容や、地域の方向性等について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくために、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

出前講座出張例：

- 6月12日 石川県管工事業協同連合会 総会
- 6月14日 新潟電設業協会 北陸営繕研修会

■ 施工管理技術検定試験合格証明書の

申請手続きについて

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下記資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士		
電気工事施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880 (代表)
管工事施工管理技士		

* 英文証明書の発行も行っております。

■ 発注情報メール配信のサービス内容

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所では、営繕工事・業務の最新の調達情報をいち早く入札参加を検討される方々にお届けするため、「官庁営繕部発注情報メール配信サービス」を試行しています。公告日に、登録されたメールアドレスに配信されます。無料でご利用いただけますので、是非ご登録ください。

1 対象となる発注機関と工事・業務種別

(1) 発注機関

国土交通省大臣官房官庁営繕部、
北陸地方整備局営繕部及び
金沢営繕事務所、

北海道開発局営繕部、
各地方整備局営繕部及び営繕事務所、
沖縄総合事務局開発建設部営繕課

(2) 工事種別

建築、電気設備、暖冷房衛生設備、
機械設備（エレベーター）等

(3) 業務種別

設計、工事監理、調査検討、
測量・敷地調査

2 登録方法

北陸地方整備局営繕部のホームページにアクセスし、表示に従い登録手続を行ってください。

PC、タブレット、スマートフォン、携帯電話いずれの端末からも登録できます。

登録は無料です。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



3 メール配信される発注情報

- (1) 工事名称または、業務名称
- (2) 工事種別、工事の等級区分、施工場所、業務の場合は、業務種別
- (3) 技術資料（工事）、参加表明書（業務）の提出締切日となります。

なお、正式な内容は、入札情報サービスにてご確認ください。

<http://www.i-ppi.jp>

■ 工事・業務発注見通し及び入札公告に関する工事概要について

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所における工事や業務の発注見通し等は、下記ホームページに掲載しています。

北陸地方整備局営繕部

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局金沢営繕事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

■ 保全マネジメントシステム（BIMMS）

導入・活用事例集について

国土交通省では、市町村による公共建築物の個別施設計画策定（平成32年度までに策定）を支援するため、個別施設計画を容易に作成できるBIMMSについて、地方公共団体が導入時に検討した内容や、活用状況をまとめた事例集を官庁営繕部ホームページに、掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000025.html

■ QRコードが利用できます

北陸地方整備局営繕部
ホームページの「QRコード」
を作成しました。ご利用ください。



えいぜん通信@北陸 平成30年7月発行



北陸地方整備局営繕部

ホームページアドレス

TEL025-280-8880(代表)FAX 025-370-6504

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局金沢営繕事務所

ホームページアドレス

TEL076-263-4585(代表)FAX 076-231-6369

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>



『えいぜん通信@北陸』は、公共建築に関する取り組みを情報発信しています。

北陸地方整備局のホームページで北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の業務全般及び『えいぜん通信@北陸』を紹介しております。どうぞ、ご覧ください。